

2013.4
第151号

看護かごしま



写真協力:公益社団法人 鹿児島県観光連盟

平成25年度
鹿児島県看護協会会員数

保健師	396人
助産師	296人
看護師	8,448人
准看護師	887人

合計 10,027人

平成25年4月1日現在

Contents

業務執行理事の近況報告	2
第44回日本看護学会-老年看護-学術集会(鹿児島開催)	3
平成25年度 役員・推薦委員等候補者紹介	4・5
研修報告	6・7・8
かえるプロジェクト	9
心に残る看護体験	10・11
ナースセンターだより	12・13
おいDONが病院	14
お知らせ	15
理事会報告	16



業務執行理事の近況報告

公益社団法人
鹿児島県看護協会会長

平川 涼子

さくらの美しい季節となりました。甲突川沿いの道ではさくら吹雪を楽しみ、看護協会付近では様々な変化する桜島に迎えられ、毎日約30分の通勤時間を楽しんでいます。

新たな年度がはじまりました。フレッシュメンバーが加わり、活気に満ちた職場でお忙しいことと存じます。かねてから、皆さまには本会事業にご協力いただき、本当にありがとうございます。

平成25年度前半の主な行事は、県協会通常総会、地区集会、看護の日・週間記念行事、日本看護学会老年学術集会等です。特に学会は、12年ぶりとなりますので準備委員や抄録査読委員、担当理事はもちろん、協会を挙げて取り組んでおります。実り多い学会になるよう、そして参加して下さった皆様が鹿児島を楽しんで下さるよう様々な検討しております。ぜひ、皆さまにもご参加していただき盛り上げていただきたいと思っております。

また、7月には参議院議員選挙も予定されていますね。看護の力を結集したいものです。

平成25年度は、公益社団法人2年目としてさらなる発展と県民の皆さまの健康生活の向上に寄与できるよう、様々な事業を展開していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

公益社団法人
鹿児島県看護協会専務理事

宮 蘭 美恵子

最近、「ひまわりと子犬の7日間」という映画を見て、大変感動しました。保健所職員（俳優 堺雅人氏）が、優しい飼い主の老夫婦が亡くなったり老人ホームに入ったりして、野犬となった狂暴な母犬（ひまわり）が子供を必死に守る姿や、その母犬の生きてきた過程を物語として思いを馳せながら、心を通わせていく姿に涙が出ました。

さて、平成24年度の新たな取組としては、事業計画や総会時の御意見等をもとに、関係者の御協力をいただきながら、ワーク・ライフ・バランス推進事業、研究倫理委員会の設置・開催、県看護協会と医療機関とのホームページのリンク、看護部長さん方とのメーリングリストの作成、県看護協会入会のしおり作成と協会入会率の数値目標の設定等について実施してまいりました。

併せて、これまで先輩諸氏が築いてこられたことを土台にして、看護を取り巻く情報を収集し、課題を見つけ、方向性を出していく看護協会版地区診断の実施、データベース化、見える化、成文化、事業の結果の把握、協会の積極的な情報発信等に努めております。平成25年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

公益社団法人
鹿児島県看護協会常任理事

加治屋 伸子

春、出会いの季節になりました。多くの職場で、異動で来られた方や新人を迎え、新しい風が吹いていることでしょう。

ところで、皆様のお手元に、平成25年度教育研修計が届いていますでしょうか？

今年は会員のいない施設にもお届けしてあります。また、研修会館での研修のほか地区での研修も6会場で実施しますので、ご参加いただき日々の看護に活かしていただければ幸いです。

すでに、皆様にはご案内しておりますが、第44回日本看護学会－老年看護－学術集会が鹿児島で開催されます。学会準備委員会・抄録選考委員会を立ち上げ、7月25・26日の開催に向け準備中ですが、なにしろ12年ぶりの開催ということで、試行錯誤しながらの毎日です。学術集会には全国各地から多くの方が参加されますので、看護職としての収穫とともに、鹿児島の良さを感じていただけるよう願っております。

第44回日本看護学会—老年看護—学術集会 (鹿児島開催)

テーマ：高齢者が自ら輝く社会へ
～安心して生きることを支える看護の力～



日時：平成25年7月25日(木)～26日(金)
会場：鹿児島市民文化ホール・鹿児島サンロイヤルホテル
参加申込：事前参加登録は4月22日(月曜日)から7月4日(木曜日)です。
詳細は日本看護協会ホームページをご覧ください。http://www.nurse.or.jp/

特別講演 7月25日(木) 10:30～12:00	高齢者が自ら輝く社会とは 志藤 洋子(一般財団法人長寿社会開発センター、国際長寿センター国際事業部長) 座長=平川 涼子(鹿児島県看護協会会長)
教育講演 7月25日(木) 13:00～14:30	在宅療養において看護が果たす役割 ～高齢者の健康をチームで支える～ 長尾 和宏(医療法人裕和会理事長、長尾クリニック院長) 座長=向窪 世知子(鹿児島県看護協会副会長、鹿児島大学病院看護部長)
シンポジウム 7月26日(金) 13:00～15:00	地域の中で高齢者を支える ～急性期から看取りまで それぞれの役割をつなげる～ ・富吉 奈美子(鹿児島市立病院地域連携室看護師長) ・今村 英仁(公益財団法人慈愛会理事長、医師) ・堀之内 貢子(垂水市保健福祉課課長補佐兼介護予防係長、保健師) ・豊重 哲郎(鹿屋市串良町柳谷自治公民館館長) 座長=齋藤 訓子(日本看護協会常任理事)
市民公開講座 7月26日(金) 13:30～14:40	ひらめきウォーキングでめざそう脳の若返り 山口 智晴(群馬医療福祉大学リハビリテーション学部准教授、作業療法士)
交流集会I 7月25日(木) 13:30～14:30	認知症看護認定看護師と考えよう!—事例で学ぶ認知症患者への早期対応 司会=溝上 祐子(日本看護協会看護研修学校認定看護師教育課程長) 島橋 誠(日本看護協会看護研修学校認知症看護学科教員)
交流集会II 7月25日(木) 14:40～15:40	いくつになっても食べる喜びを(高齢者ソフト食について) 講師=黒田 留美子 (潤和リハビリテーション診療研究所 客員研究員、農学博士・管理栄養士)
交流集会III 7月25日(木) 15:50～16:50	介護施設に勤務する看護職の研修のあり方について 調整中
交流集会IV 7月25日(木) 15:50～16:50	急性期病院と地域連携について 鹿児島大学病院看護部
論文作成支援講座 7月25日(木) 14:40～15:40	梶井 文子(日本看護協会学会委員会委員、聖路加看護大学准教授)
しろくまセミナー(スイーツセミナー) 7月25日(木) 12:00～13:00	薩摩と会津の女性史 講師=原口 泉(志学館大学人間関係学部教授)
薩摩琵琶の夕べ 7月25日(木) 17:00～17:50	講師=島津 義秀 (精矛神社宮司、薩摩琵琶奏者)
研究発表 7月25～26日	口演・示説

平成25年度 役員・推薦委員等候補者紹介

推薦委員会（委員長 山下みち子）から平成25年度副会長・地区理事・監事・推薦委員の推薦候補者について、報告を受けましたので、お知らせします。

役職	氏名	勤務先	現・新	役職	氏名	勤務先	現・新	
副会長	原田ゆう子	鹿児島中央看護専門学校 2年課程（通信制）看護科	現	監事	調整中			
常任理事	調整中			推薦委員	松永絹子	鹿児島県総務事務センター	新	
保健師職能理事	東郷令子	鹿児島市西部保健センター	新	推薦委員	森恭子	鹿児島市立病院	新	
看護師職能理事Ⅱ	富吉奈美子	鹿児島市立病院	新	推薦委員	東香代子	鹿児島医療生協本部	新	
地区理事	川薩	深川俊子	薩摩郡医師会病院	新	推薦委員	宿利原里美	鹿児島徳洲会病院	新
	始良伊佐	松枝文子	霧島市立医師会医療センター	新	推薦委員	庵悦子	済生会川内病院	新
	大島	仁添絹子	公益財団法人 慈愛会 奄美病院	新	推薦委員	松原幸江	いちき串木野市医師会立 脳神経外科センター	新
監事	財部マチ子	(前) 鹿児島市北部保健センター	新	推薦委員	竹井美鈴	肝属郡医師会立病院	新	

候補者紹介

役職	候補者名	所属	協会活動歴	協会活動に対する抱負
副会長	原田ゆう子	鹿児島中央看護専門学校 2年課程（通信制）看護科	副会長2年 看護師職能委員 2年	この度、2期目の副会長への推薦を受けました。前期に引き続き、県民の為、看護職の為の協会活動を心掛け、看護職のワーク・ライフ・バランス推進や准看護師の通信制看護師養成校進学支援等に助力できるよう努めてまいります。
保健師職能理事	東郷令子	鹿児島市西部保健センター	鹿児島地区公益 事業委員長2年 保健師職能委員2年	これまでの保健師職能委員会の取り組みを引き継ぎながら、看護協会の仲間を増やし、保健師の資質向上とネットワークづくりに努め、若い保健師が成長していくことを支援していきたいと思ひます。
看護師職能理事Ⅱ	富吉奈美子	鹿児島市立病院	会計監査 2年 訪問看護ステーションかごしまの 運営委員 2年 看護師職能委員1年	看護師職能委員を1年間行ってきました。今回、看護師職能理事Ⅱに推薦を受け、これまでの経験を活かし頑張りたいと思ひます。また、他施設の方との交流を通して、ネットワークを広げていきたいと思ひます。
川薩地区理事	深川俊子	薩摩郡医師会病院	なし	今期より、川薩地区長として、地域の看護の向上に向けて微力ながら努力していきたいと思ひます。
始良伊佐地区理事	松枝文子	霧島市立医師会医療センター	なし	この度、始良伊佐地区理事への推薦を受けました。始良伊佐地区の会員数は、1401名で、年々増加傾向にあり、心強く感じております。地区会員の皆様、看護職として、安心・安全に働き続けられる環境づくりに努めて参りたいと思ひます。

役 職	候補者名	所 属	協会活動歴	協会活動に対する抱負
大島地区理事	仁添 絹子	公益財団法人慈愛会 奄美病院	大島地区教育委員 2年 大島地区副地区長 2年	この度、大島地区理事への推薦を受けました。大役を果たすことができるか分かりませんが、何事も経験と思い頑張りたいと思います。ご指導ご支援よろしくおねがいします。
監 事	財部 マチ子	(前) 鹿児島市北部保健センター	旧保健婦部会書記 2年 保健師職能委員 2年 財政委員 6年	看護協会は職能団体として、重要な役割を担っていることを、38年間の鹿児島市の保健師活動を通して強く実感しています。微力ですが、協会の活動と現場とのさらなる連動について考えていきたいと思っています。
推薦委員 (保)	松永 絹子	鹿児島県総務事務センター	南薩地区支部教育委員 2年 川薩地区支部教育委員 1年	これまで、お世話になっている協会に対して、お役に立てることがあればやってみたいと思い、候補者となりました。
推薦委員 (助)	森 恭 子	鹿児島市立病院	なし	今回初めて推薦委員に推薦されました。他施設の方々と交流を通じて、県協会の重点項目が達成でき、看護の質の向上や社会的地位の向上に貢献していただけるような人材の推薦に向けて、微力ながら頑張りたいと思います。
推薦委員 (看)	東 香代子	鹿児島医療生活協同組合本部	鹿児島地区支部推薦委員長 1年 訪問看護ステーションかごしまの運営委員 2年	これまで、看護協会で看護管理者の教育の一端を担当させていただき、たくさんの方と交流できました。微力ではありますが、経験を生かし、頑張りたいと思います。
	宿利原里美	鹿児島徳洲会病院	業務委員 2年	看護職は、専門職能団体として、社会の中で重要な役割を担っています。その中で、果たすべき役割と看護協会活動を理解し、その任務を担い得るにふさわしい人材を選出していきます。
	松原 幸江	いちき串木野市医師会立脳神経外科センター	川薩地区理事 2年	推薦委員として、役割を果たすことができるように積極的に取り組んでいきたいと思っています。
	庵 悦 子	済生会川内病院	川薩地区理事 1年 川薩地区教育委員2年 // 評議委員1年 // 書記 2年	看護協会活動が円滑に運営されますように、皆様のご意見をお聞きしながら、委員としての役割を精一杯努めてまいりますので、よろしくお願い致します。
	竹井 美鈴	肝属郡医師会立病院	大隅地区 公益委員 2年	今回、推薦委員に推薦されまして身のしまる思いでいっぱいです。微力ではありますが、皆様に指導を受けながら頑張っていきたいと思えます。よろしくお願ひします。

平成 26 年度 日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員候補者一覧

氏 名	施 設 名
加治屋 伸子	公益社団法人鹿児島県看護協会
東 郷 令子	鹿児島市西部保健センター
吉 留 厚子	鹿児島大学医学部保健学科
赤 崎 えり子	ケアセンターやごろう苑
冨 吉 奈美子	鹿児島市立病院
藤 山 みどり	今給黎総合病院
志 水 恵美子	金子病院
上別府 敏子	宮之城病院
木 山 淳子	出水郡医師会立阿久根市民病院
野 添 浩美	寺田病院
長 野 裕子	垂水中央病院
戸 内 直美	奄美病院

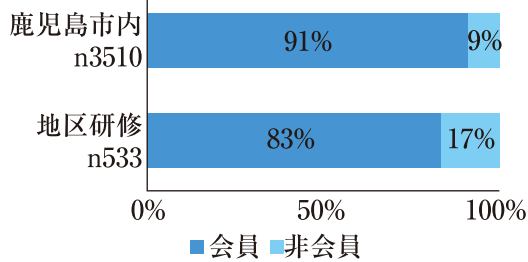
氏 名	施 設 名
宮 蘭 美恵子	公益社団法人鹿児島県看護協会
田 中 睦美	鹿児島地域振興局保健福祉環境部 (伊集院保健所)
片 平 久美子	愛育病院
有 村 芳 彰	日高病院
日 向 みさ子	居宅介護支援事業所ひなた
養 田 尚美	独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター
入 江 智子	金子病院
山 田 七生美	クオラリハビリテーション病院
小 船 井 千裕	内山病院
田 代 順子	寺田病院
片 田 淑子	大隅鹿屋病院
米 田 秀美	鹿児島県立大島病院

研修会 報告

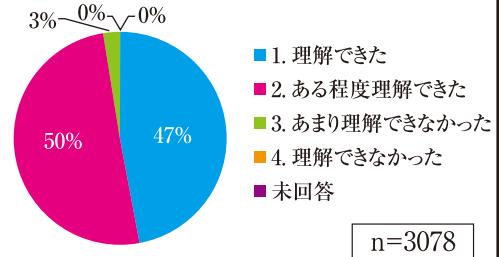
教育委員会では平成24年度研修会を28回開催し、参加総数は4235名(平成25年1月現在 実人員)となっています。平成23年度から開始した地区での研修会は4地区6会場に増やし、大隅地区、始良・伊佐地区、出水地区、大島地区で実施することができました。遠方のため普段なかなか研修に参加できない会員の方はもちろんのこと非会員の方の参加も多く、参加者のほとんどの方が研修会の内容を「理解できた」「満足できた」「実践に役立つ」と評価しており、全体の看護実践力向上につながっていると考えます。

今後も看護の動向や会員の皆様のご意見を参考に、研修会を企画していきますのでよろしくお願いいたします。

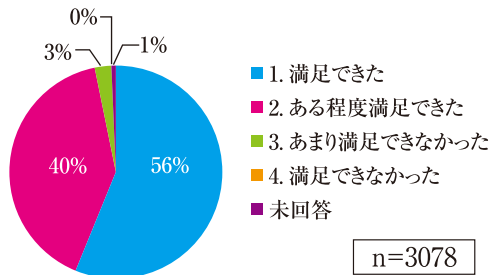
研修受講生の会員・非会員の割合



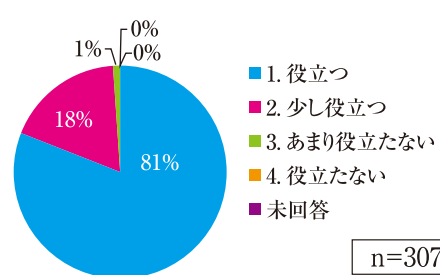
研修会の内容は理解できましたか



研修を受講して満足できましたか



研修内容は今後の実践に役立つと思いますか



研修に参加して

「フィジカルアセスメント・基礎編」研修

鹿児島市立病院 東 浩子



今までフィジカルアセスメントは、「頭から、つま先まで看護師が確認する身体査定」と思っていた。研修の中で、日常の看護実践では記録や申し送りなどの情報を選別し、意図的に観察を行うことがフィジカルアセスメントであると学んだ。

アセスメントした情報を相手に分かってもらうには、「正しい共通用語」を使う必要がある。「伝える、伝わる」には、米国で普及されている SBAR (状態、臨床経過、状況評価の結論、具体的な要望・要請) を意識して報告することの重要性を学んだ。

また衛星通信研修は、経済的で利便性があり全国の参加者で同時に学び共有し、視野が広がる機会となった。

「フィジカルアセスメント・基礎編」研修

鹿児島市立病院 田畑 彩夏



私は、経験が産科だけであるため、学びや知識に偏りがあるのではないかと思います。研修に参加した。研修では、ただやみくもに情報収集するのではなく、知識を持って意図的に行うことで効率的に行うことができるということを学んだ。

また事例を用いどのようにアセスメントをしていくべきかを講師と一緒に考えながら学び面白かった。肺音聴取の場面では、聴取方法や肺音の種類、循環動態との関連などから「今、患者の体の中で何が起きているのだろう」と考えるヒントをもらうことができた。

会場の研修生は、意欲的で休憩時間には「おもしろいね」、「研修に参加してよかった」と話していたのが印象的であった。今後も同じ質の講義が地方でも受けられる衛星通信研修があればよいと思う。

「看護研究の基礎」の研修

鹿児島医療センター 平 誠也



今回、私は「手術終了後の器械片付け行動の分析」というテーマで看護研究を行った。初めは収集したデータの活用方法が分からずに試行錯誤していましたが、「看護研究の基礎：データ処理の実践」を学ぶことで、データの分類方法が明らかになり t 検定、 X^2 検定を用いて分析することができました。苦手意識を持って臨んだ研究でしたが、講義内容を活用しながら進めていく事で自分達の研究に自信を持つことができました。

「小児看護と家族支援」研修



鹿児島大学医学部歯学部附属病院
長澤 芳

私は、「小児看護と看護支援」の研修を受講して、子どもの権利や倫理を尊重すること、在宅療養を必要とする子どもへの支援体制の連携の必要性、入院中のこどもにとっての遊びの意義や療養環境を整える必要性などを学びました。この学びをもとに、検査や処置の際は、安全の確保だけではなく子どもの頑張りを認めるような声掛けを心がけ、また、在宅療養に向けては、医師やソーシャルワーカーとも密に連携を取りながら生活環境を整えるようにしています。そして、今後も子どもにとっての最善の看護を提供したいと思います。

「急性期の呼吸管理と看護」(大隅地区開催)



県民健康プラザ鹿屋医療センター
多田 はみ子

私の勤務している病棟では術後の呼吸管理のために人工呼吸器を使用していますが、使用頻度が低い月もあります。毎年年度初めに人工呼吸器の学習会を開催していますが、取り扱い説明に終わっている現状でした。今回この研修に参加して、呼吸器系の生理から人工呼吸器の基本的なしくみを知り、合併症の予防などより具体的な看護を学ぶことができました。特に観察のポイントや体位については、学んだことをスタッフへも伝達しています。今後大隅地域での研修会をぜひ継続してほしいと思います。

今年度の教育計画 (41 頁) に『受講記録一覧表』を追加しました。

研修会終了後、会員で御希望の方に修了印を押印いたします。希望者は研修会当日教育計画を御持参ください。

ご自身がどのような学習をされたのかの証明にもなりますので、是非ご活用ください!!

研修会『看護管理者に必要な基礎理論』の日程が変更になりました。

皆様には御迷惑をおかけしますが、お間違えのないようお願い申し上げます。

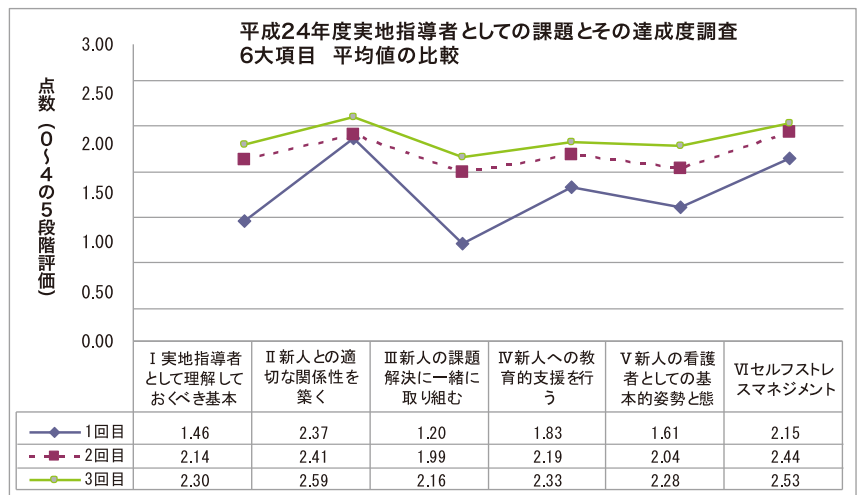
平成25年11月9日(土) → 平成25年11月10日(日)

(教育委員会)

実地指導者研修会は、臨床での新人教育に活かされています!

平成24年度実地指導者研修会は、昨年9月、10月の2回3日間の日程で開催されました。受講者は217名、うち修了者215名に対し、実地指導者としての課題とその達成度調査を行いました。調査は6つの大項目(合計39の質問)の質問に、0(全く出ていない)から4(できている)の5段階で評価するものとし、1回目(研修受講前)、2回目(研修受講直後)、3回目(研修受講3ヵ月後)の合計3回実施し、データを集計しました。3回全てのデータがそろっている有効回答数は122(56.7%)でした。結果は表に示すように、受講前は低かった平均値が、3回目では点数が最も高くなっています。このことから、研修は、受講者の意識行動に変化をもたらし、臨床での新人指導に活かされているのではないかとことがわかりました。

来年度は、対象を再来年度(平成26年度)実地指導者予定の方とし、研修開催時期を1月16~18日、2月5~7日頃に予定しています。詳細が決まりましたらホームページや各施設への郵送等でお知らせいたします。



(新人卒後研修プロジェクトチーム)

認定看護管理者教育課程セカンドレベルを受講して

教育期間：平成24年9月5日（水）～11月9日（金）（33日間）

会場：鹿児島県看護協会研修会館 セカンドレベル教育修了生：31名

医療法人愛誠会 昭南病院
八木 美智代

6年前に看護師長の職位を受け、看護管理者として迷走しながら実践を積んで参りました。今回、本研修の受講により「管理」の最前線でご活躍中の講師の先生方から管理の本質について論理的に学び、今後の管理実践における多くの示唆をいただくことができました。また、同じような悩みや境遇を共感し合える楽しい仲間と出会え、課題レポートに苦悩しながら本当に有意義な時間を送ることができました。このような貴重な機会を与え支援して下さった全ての皆様に感謝し、この学びを実践に活かせるよう邁進したいと思います。

鹿児島市立病院
中久保 きみ代

研修に通った2ヵ月間は人との出会いを通して自分を見つめ直す貴重な時間となった。「管理とは何か」という根本的な問題を様々な角度から教えていただいた。その都度、今の自分と比べては未熟さを痛感する毎日だったが、講師の先生方の仕事に対する姿勢を学び、パワーに圧倒され、苦しかったけど楽しく、元気をいただいた研修だった。一緒に学んだ仲間と職場の同僚に感謝したい。これからも学び続ける、考え続ける人でありたいと思う。

実習指導者講習会を受講して

研修期間：平成24年11月26日（月）～平成25年2月14日（木）（40日間）

場所：鹿児島県看護協会研修会館 実習指導者講習会修了生：53名

今給黎総合病院
平田 聖子

不安を抱えた講習会でしたが、先生方の御指導や御協力で無事に終了することができました。40日間は長いようであっという間でした。同じ立場にありながら私の持っていないものを持っている他施設のメンバーと出会えたことは、今後看護師として働く上での心強い仲間になりました。

講習参加後、学生の見方が変わり、学生に余裕を持って接することができました。看護教員の意図するものがわかるようになり、コミュニケーションも前より取るようになりました。これから、スタッフが学生に興味をもらえるように、スタッフの育成もしないといけません。まずは、自分が変わり手本を見せていければ良いなと思っています。

義順顕彰会田上病院
丸野 嘉行

今回、40日間という期間で実習指導者講習会に参加しました。当初、私が勤務する施設で看護実習生を受け入れていないこともあり看護学生教育についての知識が乏しかったのですが、教育・看護・指導について時間をかけて基礎から学ぶことができました。また、講習会で知り合った方々との情報交換もでき、大変有意義な40日間だったと思います。

本講習で学んだことを活かし、私たちの後輩となる看護実習生の臨床指導に励んでいきたいと思っています。

かえるプロジェクト

～現場からのレポート～

WLBの取り組み

新人教育と全職員に周知するワークライフバランス

■国立病院機構鹿児島医療センター

看護部長 認定看護管理者 中重敬子

【施設概況】；平成 24 年度 1 月累計
 病床数；366 床 (ICU16 床 SCU9 床)
 病床稼働率；84.8%
 特徴；循環器病・脳卒中・がん急性期病院
 平均在院日数；16.5 日
 看護配置基準；7 対 1
 看護職員；356 名 (非常勤 12 名)

ワークライフバランス (以下 WLB) の取り組みについて 2 点紹介致します。

まず 1 点目は、当院の新人教育は、国立病院機構独自の Acty ナースという能力開発プログラムを基に、新人教育クリティカルパスを導入し研修を行っています。職場に適應するようあらゆる手段を用い企画していますが、その中でも 6 月中旬の多職種合同宿泊研修は特徴があります。6 月は新人にとって自分の力不足を感じたり、夜勤開始を意識したりする時期で、かなりのストレスや不安が生じる時期です。7 月を目途に夜勤開始ですが、夜勤体験のない新人にとって、長時間夜勤の勤務計画の立て方や、休憩休息の取り方などイメージがつかえません。それに対し人の命を見守る職種としての、夜勤前後の心と体づくりについて教育をしてこなかったことを踏まえて、宿泊研修において、「夜勤前後の過ごし方」、「健康管理」「時間管理」「WLB の必要性」についてオリエンテーション

を行いました。新人は、87.5% (21 名) が夜勤に入る心構えができたと回答しました。「時間の価値観」の項目で、睡眠は「自分の時間」と回答した人数が有意に減少しました。「WLB がとれているか」の項目は、夜勤前後の差はなかった。この結果は、睡眠時間は仕事に備える時間とも捉え、夜勤開始後も WLB を大きく崩さず過ごしているのではないかと考えます。



次に、看護協会の「ピタッとかえるデイ」の取り組みを紹介致します。このポスターが送付されてすぐ幹部会議で病院としてどう取り組むか検討し、できることから始めようと「第 1・第 3 金曜日はピタッとかえるデイ」として、独自のポスターを作成し、全職場に配布しました。時々今日はピタッとかえるよ～という声も聞かれるようになりました。働き過ぎる職員の健康管理と職場環境の改善を目標に今後も取り組んでいきたいと考えます。



■南風病院

看護部長 三石 久美子

【病院概況】
 病床数 338 床 (一般病床)
 平均在院日数：12.8 日
 病床稼働率：80.6%
 看護基準：7 対 1
 勤務体制：変則 2 交代
 看護職員：看護師 311 名 非常勤 13 名
 看護助手 37 名 クラーク 14 名

「やりがいを持って、働き続けられる職場環境を整える」は、職場として職員を大切に重要な課題でもある。この数年の活動では、「やりがい」整備として、目標管理の定着ややりたいことを支援する体制充実を試みた結果、認定看護師が 11 名誕生するなどした。「働き続けられる」では、部署や看護部での業務改善 (救急受け入れとしてリカバリー室の独立、外来夜勤処遇整備、パートの希望時間採用)、研修の時間内開催の実現、5 連休取得実績、電子カルテ導入などがある。また、職場の人間関係や新人教育にも影響するコミュニケーションスキルを継続的に実践学習したことが、明るく、活気ある職場の雰囲気改善には効果的だった。

さて、子育て支援は、育児休暇中が 13 名、取得予定者は 5 名であり、年間 14 名の利用者があった。復帰後も正職員短時間勤務者は 10 名で、看護職員の約 13% が修学前の子育て中である。「子の看護休暇」を利用できるが、子育て中の突然の休みや、超過勤務、夜勤ができない勤務などから生じる問題への、さらなる対策も急がれる。

連続勤務時間短縮や夜勤専従についての学習など準備してきたが、今後は具体的に実践できる体制整備が望まれる。子育て支援では、夜間保育の実施が喫緊の課題である。当院では、24 年度「女性がイキイキと活躍している職場づくり」というプロジェクトをたちあげ、活動をしてきた。理事長をはじめとする看護部ほか大多数が女性であるため、女性が働き続けられる職場環境に関する課題を明確にすることができた。今年は病院全体への波及を期待でき、その中で「No 残業デイ」活動は、「ぴたっとかえるデイ」ポスターがどこでも見られることになるでしょう。



心に残る 看護体験



生見クリニック
米倉 雪美

現在、無床クリニックに勤務し 18 年が経過、外来業務と介護支援専門員を兼務しています。その中で私にはとても辛く、胸詰まる思い出がありました。6 年前の正月明け、80 歳過ぎた夫が、褥瘡（Ⅲ～Ⅳ）を併発した動けない妻を見ていた高齢者の 2 組の夫婦のケースです。

A 夫婦は山頂近くに住んでおり、近隣に人家はなく又交通手段もない所で、腰痛で動けなくなった妻に戸惑い、不慣れながらもお粥を作り、食べさせていました。B 夫婦は、認知症の診断後受診することなく、徐々に寝たきり状態となった妻に、終日付き添い、好きなメロンパンを毎日食べさせていました。その夫は、介護保険制度の知識もなく、「保険（介護）に入れ！」と見知らぬ人達が来るからと警戒して、家の入口にナタを置いていました。

高齢者の独居や夫婦世帯が徐々に地域社会から孤立していく状況の中、地域での信頼関係がいかに大切であるかを改めて考えさせられることでした。

高齢化率 39% の、この地域で患者様、家族様のそれぞれの大切な人生が、この地で最期まで尊厳をもって暮らせるように、看護師としてその一瞬でも寄り添い、貢献できるよう努めていきたいと思えます。



生見クリニック
大山 千代美

臨床の場を離れ介護の仕事に付き 7 年が経ちました。臨床では限られた空間と時間を患者さまと向き合い、回復されて退院される姿を見る度に達成感と喜びを感じていました。介護の現場では生活環境や家庭環境、経済的環境等様々で、認知症を患っていたりと困難があります。

その一例として、食事を摂ること、衛生的な生活を営む事も困難な、共に認知症を患う夫婦がいました。デイケアの利用やヘルパーによる生活支援を行っていましたが、徘徊があり近所の方からの苦情が寄せられる様になりました。その為、包括支援センターの方・地域の民生委員の方、駐在所の警察の方、親族の方を交え、認知症の疾患と現在の対応（介入）方法を説明し、理解と協力をお願いしました。その後、駐在所の方が自宅を見回って下さるなど、社会的協力を得る事ができました。しかし、その矢先に奥様が不慮の事故で亡くなってしまいう残念な結果になってしまいました。在宅で生活することは難しいのでしょうか。未だに考えさせられます。

高齢者が地域で生活していくには、多くの問題があります。未熟な私ですが、少しでも長く在宅で生活できるよう支援していきたいと思えます。



公益財団法人 慈愛会
介護老人保険施設
愛と結の街
稲光 光

看護に携わり、約 25 年が過ぎようとしています。その間多くの出会いや別れ、また思い出深いエピソードなど心に刻まれています。

混合病棟に勤務していた頃のことです。血液疾患の女性患者様の担当になりました。K さんは 30 歳代でガンと告知され、化学療法が開始されようとしていました。K さんは初めての入院、そして我が身に何が起きているのか混乱されているようでした。私は、副作用による髪の毛が抜け落ちることが気になり、他の患者様と同じようにバンダナの着用など提案したのです。間もなくして吐き気、食欲不振などと共に、髪も抜けていきました。K さんに呼ばれて病室へ行くと、言いようのない激しい感情をぶつけられました。「髪がどんどん抜けていくよ。ただ頭の上ののっているだけじゃないの。」と、今思うと K さんは病気に対する不安や恐怖心のなか、「その人の気持ちを引き出せないまま、一方的な看護」をしていたことが思い出されます。

今、ご利用者一人ひとりのペースに合わせ、相手の立場になって考えられる看護を提供していきたいと思っています。



公益財団法人 慈愛会
介護老人保険施設
愛と結の街
岐部 友紀子

看護師になり 9 年目になろうとしています。途中、結婚、出産を経験し家族と生活する何気ない日常が大切な時間であることを改めて実感しています。現在の職場で働くようになり、疾患や環境的な問題から住み慣れた自宅を離れ、施設入所されている、ご利用者様の在宅復帰を支援することのやりがいを感じることができました。中でも初めて担当させていただいたご利用者様は、自宅での生活への思いが強く、また奥様も一緒に生活できることを何よりも望んでいらっしゃいました。在宅で生活をするために家屋調査や排せつ介助などの介護指導、インシュリン注射などの看護指導をさせていただき、無事に在宅復帰することができました。私自身がデイケアで勤務するようになり、実際にご利用者様のお宅へ送迎に行った際に、『お久しぶりです。来てくださるのを待っていました。おかげさまで夫婦二人の生活を楽しくしています』『いつでも遊びに来てください』と声をかけてくださり、とてもうれしい気持ちでいっぱいになりました。これからも関わっていく入所者さまが心豊かな生活を送れるように支援していきたいと思っています。

ナースセンターだより

Vol.104

平成25年度 ナースセンター事業のご案内

就業相談事業（ナースバンク事業）

- ◆無料職業紹介・就職に関する相談
来所・電話・FAX・インターネットによる相談窓口
- ◆医療機関等の看護職員需要状況の把握
- ◆再就職支援セミナー：年1回（鹿児島市）
開催日 11月5日(火)～11月21日(木)(6日間)
※市外での開催についても検討中。



再就職支援
セミナー風景

- ◆看護職員実態調査（求人施設・求職者）
- ◆県内の好事例施設の情報収集と発信
- ◆ナースセンターだよりの発行（年4回）

看護の心普及事業

- ◆「看護の日」記念事業
（看護週間行事）
- ・ふれあい看護体験
（中高生や一般の方が、病院施設で看護を体験します。）
- ・まちの保健室
- ・出前授業（看護職員が教室で看護の魅力を語ります）
- ・「看護への道」進路相談



その他

- ◆看護職の働き続けられる職場づくりのための活動
看護職のWLB(ワーク・ライフ・バランス) 推進ワークショップ
※平成25年8月～9月に開催予定
- ◆フォローアップワークショップ
※平成25年12月～26年2月に開催予定
- ◆ナースセンターの広報活動
看護学校訪問、ハローワークとのネットワークづくり



訪問看護師養成事業

- ◆訪問看護研修ステップ1：年1回（24日間） 開催日 6月3日(月)～11月16日(土)（週2日程度）
*「訪問看護 e-ラーニング」(日本訪問看護振興財団実施) 修了者の受け入れも可。
- ◆訪問看護フォローアップ研修会：開催日 10月26日(土)

平成25年度 受講生募集!

申込期間 4月8日(月)～5月2日(木)まで【研修期間:6月3日(月)～11月16日(土)】

<お申込方法>

受講申込書に必要事項をご記入いただき、下記連絡先まで、持参または郵送でお申し込み下さい。
(申込書は、看護協会ホームページ <http://k-kango.jp/> からダウンロードできます)

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町21番5号 鹿児島県看護協会 「訪問看護研修担当者」 宛

*詳細のお問い合わせは、鹿児島県ナースセンターまでご連絡下さい!

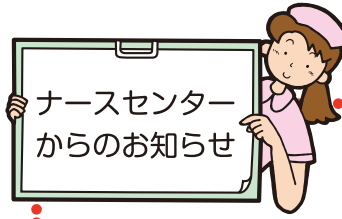
被災3県における求人情報について

平成23年3月11日の東日本大震災の発災以降、被災3県(岩手県、宮城県、福島県)においては、看護職員の確保が困難な状況が続き深刻な問題となっています。

現在、全国のナースセンターでは、被災県の看護職員確保支援のために連携・協力しておりますが、被災県内で現在看護職員が不足している医療機関等の求人情報を特設情報として、下記のホームページ上に掲載しています。

<https://www.nurse-center.net/html1/contents/info/hisaisankenkyujin.html>

掲載された求人への就業を希望される方、詳細情報をお知りになりたい方は、それぞれの求人情報の担当ナースセンターもしくはご登録のナースセンターへご連絡ください。なお、求人情報は随時更新いたします。



★「求人情報」の掲載内容が変わります！

ナースセンターだよりと一緒にお届けしている「求人情報」について、これまで所在地別・施設種別による掲載でしたが、今後は求人施設名を加えた、より具体的な内容に変わります。これからも、ナースセンターでは求人施設・求職者の皆さまからのご要望にお応えしながら、県内での看護職就業の活性化と就業環境の改善に向けて取り組みたいと思います。ぜひ皆さまのお声をお届け下さい。求人施設名の掲載は、次号（平成25年7月発行分）からです。

●求人の皆さまへ●

求人の登録期間はご登録月から6カ月間です。登録期間の終了月には、月初めにナースセンターからメールまたはFAXで連絡いたしますので、更新希望や求人の内容変更があればお知らせ下さい。また、施設の特色や独自の取り組み等はPR欄への掲載が可能ですので、施設のアピールにお役立て下さい。

看護職確保や離職防止についてのご相談がありましたら、引き続きナースセンターをご利用ください。退職者のある場合には、退職者へのナースセンターのご紹介も併せてよろしくお願致します。

●求職者の皆さまへ●

ナースセンターご登録後のお仕事探しには、ナースセンター発行の「求人情報」やホームページ（<https://www.nurse-center.net/>）をご活用ください。面接や見学希望の際にはナースセンターからの紹介が必要です。掲載されている求人についてのご質問・ご相談がありましたら、お気軽にご相談下さい。

求職者の登録期間は登録月から6カ月間です。就職先が決定した場合や連絡先の変更、就業希望内容の変更がある場合等は必ずナースセンターにご連絡下さいますようお願い致します。また、ご友人やお知り合いの看護職の方で就業をご希望の方がありましたら、ぜひナースセンターをご紹介ください。

ハローワークに 看護の仕事相談コーナーを 開設します！

- ◆日時：平成25年4月～
毎月1回程度
- ◆場所：ハローワーク鹿児島
(鹿児島公共職業安定所)
〒890-8555
鹿児島市下荒田1-43-28
- ◆内容：就職について・仕事上の悩み
進路相談(看護の資格の取り方)等
- ◆看護の資格のあるナースセンター
就業相談員が対応します。
※詳細は、
鹿児島県ナースセンターへ
お問い合わせください。



これからのナースセンターは？

日本看護協会は、看護職の定着・確保の「総合拠点」に向け、ナースセンターの機能強化に取り組む方針を決定しています。また、厚生労働省は平成25年2月8日「医療分野の『雇用の質』向上プロジェクトチーム報告書」をまとめ、ナースセンターの機能強化、ハローワークなどとの事業連携の推進など、ナースセンターの総合力強化を提言しました。



ネットで求人・求職! e-ナースセンター

<http://www.nurse-center.net>

(類似のサイトにご注意ください)

鹿児島県ナースセンター

[看護師等無料職業紹介所 46-ム-010002]

住所 〒890-0064

鹿児島市鴨池新町21-5

TEL 099-256-8025

FAX 099-256-8081

E-mail kagoshima@nurse-center.net

相談日 月～金曜日(祝祭日は除く)

午前9時～午後4時まで

鹿児島県の求人・求職登録状況(12月～2月分)

(人)

	有効求人数					有効求職者数					就職者数				
	保	助	看	准	計	保	助	看	准	計	保	助	看	准	計
12月	17	7	342	22	388	12	8	127	14	161	0	0	19	4	23
1月	17	8	391	22	438	11	7	123	10	151	1	0	10	0	11
2月	29	6	416	22	473	10	6	152	10	178	0	0	60	2	62



特定医療法人三州脇田丘病院は、鹿児島市の南部に位置し、鹿児島大学病院が真正面にみえる小高い山の上にある142床の単科の精神科病院です。

昨年、創立60周年を迎えると同時に、7月に新館（第1期工事）が完成しました。還暦という節目に新しくなる建物は、鹿児島を象徴する白薩摩焼の優しい白色、大島紬のイメージをとり入れて設計してあります。山上の白い館、リゾートホテルのような外観をしており、暖かい光に包まれた病室、広い廊下は、患者様の癒しの空間となっております。

当院は、「誠実で安全な医療の提供」を理念に掲げ、20年前の医師と看護師だけによる精神科医療から、精神保健福祉士、臨床心理士、作業療法士、薬剤師、管理栄養士、介護福祉士、看護助手、事務職など数多くの職種で行うチーム医療へと大きく変化しています。これらの職種は、定期的にカンファレンスを行い情報を共有しながら、個々の患者様に安心、安全の医療を提供しています。

精神科疾患には、統合失調症、うつ病などの感情障害、神経症、人格障害などが挙げられますが、最近では、認知症で、暴言・暴力など、家庭や施設では対応が困難な患者様の入院が増えています。これらの方々の症状改善をはかり、再び家庭や施設へという取り組みが、近年の精神科病院に課せられた役割となっています。又、外来では、学校や仕事を休むほどではないけれど、慢性の不眠、疲れやすい、やる気が出ないなどのメンタル不全が疑われる人が増えてきています。

外来部門に併設して、社会復帰へむけてサポートする為に精神科デイケア、デイナイトケア（大規模）があります。通院だけでは不安、生活のリズムを整えたいなどの悩みを持つ人たちと一緒に課題解決に取り組んでいます。それから、日常生活を送る中で、悩みや不安を抱えている人の自宅に看護師等が訪問し、健康状態の観察、心のケア、社会復帰に関する相談、家族への支援を行う精神科訪問看護も行っております。

患者の背景は個々で異なり、病状も日々変化していく中で、対応する看護師は、苦慮の連続です。看護部の目標に、「個別看護の充実」「ひとりひとりを大切に」をあげ、ていねいでやさしいあたたかい看護をめざしています。そして、「前へ」をキーワードとし、良いと判断した新しいものは、すぐに取り入れ、日々前へ進む事を心がけています。

ここで当院が現在実施している新たな取り組みを紹介します。①うつ病のために休職された方の復職に向けたリハビリを行うプログラム（リワークプログラム）の実施です。復職に関わる専門的な助言や援助を行い安心して復職できるようにお手伝いしています。②アルコールリハビリテーションプログラムを導入し、専門スタッフによるアルコール依存患者様のサポートを行っております。③今後の予定ですが、発達障害児の診療エリアとして新築されることも発達外来です。常勤の臨床心理士が主に対応し、担当医師のサポートを行い患者様の支援にあたります。

精神科治療は、明治初期までは祈祷に頼っており、精神病患者の大多数は私家に監置されてきました。その後さまざまな変遷を経て、現在、入院医療中心から地域での生活主体の考え方に変わってきました。一般科と同じように精神科もめまぐるしく変貌を遂げています。ここで働く私たち看護師も、患者様に上手に寄り添える看護、コミュニケーション技術を磨いた専門性の高い精神科看護師として誇りを持ち成長しています。「精神科の看護が好き」「看護の基本は、精神科にあり」と声を大にして言いたいと思います。

看護協会の皆様、精神科の扉をちょっと開けてみませんか。あなたの目指した笑顔にきっと出会えますよ。



次回は **田上病院** です。お楽しみに！

お知らせ

○東洋羽毛から、平成24年12月、50万円の寄付をいただきました。

○日本財団から、訪問看護用の車両購入のための一部として49万円の助成をいただき、平成25年1月31日、軽自動車を購入しました。

平成25年度 新規・継続入会申込み受付中です!!

入会手続きはお済みですか？
保健師、助産師、看護師、准看護師の資格があれば、どなたでも入会できます。
ご入会をお待ちしております。

◆ 会員証について

入会手続き後、会員証がお手元に届くまでに1ヶ月~2ヶ月ほどかかりますので、ご了承ください。

入会手続き日	会員証発送予定日	入会手続き日	会員証発送予定日
~H25/5/ 2	6月14日頃	~H25/7/ 5	8月9日頃
~H25/5/22	6月28日頃	~H25/7/18	8月22日頃
~H25/6/20	7月31日頃	~H25/7/27	9月5日頃

◆ 入会・異動手続き、入会履歴等、ご不明な点は、お問い合わせください。

TEL 099-256-8081 FAX 099-256-8079
E-mail kakankyo@orange.ocn.ne.jp

まちの保健室を開催します。
◎日時 2013年5月11日(土) 10:00~17:00
◎場所 イオン鹿児島ショッピングセンター(1階:風の広場)

◆測定コーナー
骨密度・血管年齢・血圧

パレン
アートも
あります

◆体験コーナー
妊婦疑似体験
脳年齢タッチパネル
プチナス体験

◆相談コーナー
健康・介護・禁煙
「看護への道」進路
子宮頸癌及び乳がん予防について



救急認定看護師による
◆一次救命措置
の実演・体験
(11時-13時・15時)

※どなたでも参加できます。
※すべて無料です。

看護の日・記念事業 入場料 無料です



◎日時 2013年5月30日(木) 13:00~16:00
◎場所 鹿児島県庁 講堂(2階)

◆看護業務功労者県知事表彰
ふれあい看護体験発表
やまびこ医療福祉センター栄養士 橋本慶子氏
始良市民生委員会 徳永聡子氏

◆講演「認知症の理解
~いつもと違う家族や自分はいませんか?~
講師:谷山病院 副センター長 黒野明日嗣先生

◆講演「認知症の人が暮らしやすい地域づくりを目指して」
講師:肝付町役場 福祉課 介護保険係 参事 能勢佳子先生

平成25年度 ワーク・ライフ・バランス推進事業 ワークショップ参加施設が決定しました。

- ①医療法人 明正会 今林整形外科病院
 - ②公益財団法人 慈愛会 今村病院
 - ③公益財団法人 慈愛会 今村病院分院
 - ④恒心会 おぐら病院
 - ⑤公益社団法人 鹿児島市医師会病院
- その他、インデックス調査のみの参加
鹿児島市立病院です。

公益社団法人鹿児島県看護協会は、平成24年1月14日に開催されました「平成24年度九州八県赤十字大会」において、日本赤十字社の銀色有功章を受章いたしました。



表彰楯と、記念品の有田焼

「看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドライン」の冊子ができました。

ガイドラインでは、
・現在行われている夜勤・交代制勤務が抱える課題
・負担を軽減するための組織・個人における対策の提案
・夜勤・交代制勤務に関する規定や法令についてなど
がコンパクトにまとめてあります。

「看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドライン」を、皆様の職場で、看護現場の夜勤・交代制勤務のマネジメントを支援するツールとして、また看護職おひとりおひとりが健康に働き続けるための参考として、ぜひご活用下さい。



平成25年1月26日(土)

17名出席

理事会 報告

◆協議事項

- 1 鹿児島県看護協会 研究倫理委員会規約及び研究倫理委員会に関する取扱いの制定について
- 2 理事の報酬等の総額の上限の変更について
- 3 平成24年度補正予算(案)について
- 4 グランドピアノの処分について
- 5 就職ガイダンスについて
- 6 会員加入促進について
- 7 平成25年度各委員会の委員選任の考え方について
- 8 鹿児島県看護協会会長表彰の考え方について
- 9 平成25年度看護業務功労者の推薦について
- 10 平成24年度事業評価及び平成25年度事業計画について
- 11 謝金規程の改定について
- 12 定款の改正について
- 13 定款施行細則の改正について
- 14 認定看護管理者セカンドレベル教育の受講料の改定について

★報告事項

- 1 ワーク・ライフ・バランスフォローアップワークショップについて
- 2 看護部長研修会の開催について(12月19日)
- 3 桜島爆発訓練について
- 4 老年看護学術集会の進捗状況
- 5 在宅チーム医療人材育成事業(地域リーダー研修)について
- 6 各種表彰候補者の推薦に係る進捗状況について
・日本看護協会名誉会員, 日本看護協会会長, 鹿児島県看護協会名誉会員
- 7 県看護協会各種委員会活動, 関係団体会議出席等報告
- 8 平成25年4月の理事会について
- 9 平成25年度 看護の日記念式典等の日程について
- 10 平成25年度ワーク・ライフ・バランス推進ワークショップの参加募集について
- 11 看護部長のメーリングリストの作成について

★その他

平成25年度通常総会の役割分担について

平成25年3月16日(土)

16名出席

★協議事項

- 1 謝金規程の改定について(研究倫理委員会委員追加)
- 2 旅費規定の改定について
- 3 鹿児島県看護協会名誉会員推薦規定及び殊遇規定の改定について
- 4 ナースセンター管理者及び訪問看護ステーション管理者の名称変更について
- 5 県看護協会における委員会の名称変更について
- 6 平成24年度の事業報告について(業務執行理事の平成24年度後期業務執行状況含む)
- 7 平成25年度重点事業及び事業計画について
- 8 平成25年度教育事業について
- 9 平成25年度県看護協会事業計画に係る目標設定の検討について
- 10 平成24年度補正予算(第2号)
- 11 平成25年度予算
- 12 県看護協会名誉会員被推薦者について
- 13 県看護業務功労者表彰候補者の推薦について
- 14 県看護協会会長表彰者について
- 15 平成25年度通常総会プログラム及び議案について
- 16 3職能集会プログラムについて
- 17 県看護協会名誉会員証授与式について
- 18 平成26年度 日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員候補者について
- 19 平成25年度 鹿児島県看護協会 役員・職能委員・推薦委員候補者について
- 20 平成25年度ワーク・ライフ・バランス推進事業ワークショップ参加施設について
- 21 認定看護管理者教育課程規則の制定について
- 22 総会の委任状について

★報告事項

- 1 老年看護学術集会の進捗状況
- 2 在宅チーム医療人材育成事業(地域リーダー研修)について
- 3 県看護協会各種委員会活動, 関係団体会議出席等報告 等

編集後記

暖かな春とともに新しい職員を迎え各職場も活気づいていると思います。

今回の「看護かごしま」は今までにない表紙を選んでみましたが、皆様の印象はいかがですか？

新年度のスタートです。気分を新たにがんばりましょう。

看護専門職として
社会に貢献しよう



会員の増加と福祉の
向上のため活動しよう

公益社団法人 鹿児島県看護協会

鹿児島市鴨池新町21-5

TEL.099-256-8081 FAX.099-256-8079

URL <http://k-kango.jp>E-mail kakankyo@orange.ocn.ne.jp